

標準予防策技術チェック要項

1. 目標

- ① 衛生学手洗い(石鹸、擦式アルコール手指消毒薬)が正確に実施できる
- ② 個人防護具(エプロン、マスク、フェイスシールド、手袋)の着脱が正確に実施できる
- ③ 自己の課題がわかり克服できる

2. 日時・場所 10月5日(月) 8:50~12:00 実習室 I

3. 服装 身だしなみは実習に準じて整える。実習要項、“Ⅷ実習上の心構えと注意事項”、3の8)~12) 参考
演習委員が教員とともに身だしなみチェックを行う

4. 必要物品

※マスク、ハンドクリーム以外は翼工業で購入済

標準予防策に関する授業資料

ニトリル手袋(未滅菌)、ディスポエプロン、アルコールジェル、ミーガード本体とミーガード用フィルム、ペーパータオル、オーガナイザー、マスク 1 枚(個包装のものかジップロックに入れてくる)、A4 サイズのポリ袋、クリップボード、ハンドクリーム(必要な方のみ)

5. 事前学習課題

- これまで学習した内容の復習となる。必ず復習と練習をして臨む。手順は頭にいれておき、何も見ずにできるようにしておく。

6. 注意事項

- ① 私語は慎み、緊張感を持って臨む。
- ② 忘れ物がないように準備する。忘れ物をしてしまうと、この時間にチェックを受けることはできない。
- ③ 演習で使用する物品は、大切に扱う。

7. 内容

8:50~9:00 会場の準備

9:00~9:20 オリエンテーション

9:25~9:55 ① 衛生学的手洗いのチェック開始(1人あたり3分で計算、30分を予定)
名前の順で4名ずつ、手洗い場へ移動する
手洗い場手前にセッティングしたグリッターバグローションを塗布する
手洗い場で手洗い実施
チェック終了後は、グリッターバグブースへ移動する
汚染部位を確認しながら自己の課題に取り組む
動画や授業資料(宮川先生)を見ながら再学習する
課題が終了したら空いているスペースで、個人防護用具の練習をする
全員がチェックを受けたら、再チェック者がチェックを受ける
※各自トイレ休憩をとってよい、飲み物は実習室ではなく廊下で飲むこと

10:40~11:30 ② 個人防護用具の着脱チェック開始(1人あたり5分で計算、50分を予定)
 ※手洗い再チェックが終われば前倒す
 チェックを受けたら自己の課題に取り組む
 動画や授業資料(宮川先生)を見ながら再学習する
 全員がチェックを受けたら、再チェック者がチェックを受ける

まとめ
 振り返り用紙の提出
 片づけ、午後のセッティング

8. 学習グループ

	メンバー		メンバー
1G	1、2、3、10	6G	14、18、19、20
2G	4、5、6、7	7G	21、22、23、24
3G	8、9、11、12	8G	25、26、27、28
4G	13、15、16、17	9G	29、30、31、32
5G	33、34、35、36	10G	37、38、39、40

9. 終了後の学年からの伝達事項

テスト返却(哲学)、学年が出した課題レポート返却
 デイライトホームボランティア説明(該当者のみ)